

産業技術研究助成事業の事後評価について

平成21年度に採択され、平成26年4月末までに終了した計10件の当事業研究テーマについて事後評価を実施した。

1. 評価の結果

| 評価 | 件数 |
|----------|------|
| 極めて優れている | 0テーマ |
| 優れている | 6テーマ |
| 概ね妥当である | 4テーマ |
| 妥当とは言えない | 0テーマ |

2. 評価対象の研究テーマと評価結果

評価対象となった研究テーマとその評価結果は、(別紙)のとおり。

3. 評価の方法

(1) 評価の手順

以下の書類に基づき、1研究テーマあたり複数の評価委員による書面評価を行った。

- ・ 研究成果報告書（研究代表者が作成した最終版）
- ・ 研究開発提案書（研究代表者が作成した応募時の提案書）
- ・ 補足事項説明資料（事後評価実施にあたり研究代表者が任意で提出した補足資料）

(2) 評点の基準

評点は以下のA～Dの4段階とした。

A: 極めて優れている B: 優れている C: 概ね妥当である D: 妥当とは言えない

(3) 評価項目と視点

| 評価項目 | 視点 |
|---------------|--|
| 1) 目標の達成度 | ・ 成果は目標値をクリアしているか。 ・ 全体としての目標達成度はどの程度か。 |
| 2) 成果の意義・波及効果 | ・ 成果には新規性・独創性・革新性があるか。 ・ 成果は、世界的に見てどの程度の水準にあるか。 ・ 成果は、新たな技術領域を開拓することにつながるか。 ・ 投入された予算に見合った成果が得られているか。 ・ 成果は関連分野への技術的波及効果及び経済的波及効果を期待できるものか。 ・ 研究の実施自体が当該分野の研究開発を促進するなどの波及効果を生じているか。 |
| 3) 特許・成果発表 | ・ 特許等(特許、著作権等)は適切に出願されているか。 ・ 外国での積極的活用が想定される場合、外国の特許を取得するための国際出願が適切にされているか。 ・ 論文発表の質や量は十分か。 |

| | |
|--------------|---|
| 4) 成果の実用化可能性 | ・産業技術として実用化・事業化に結びつく可能性があるか。 ・実用化に向けたアプローチ(企業連携等)は行われているか。 |
| 5) 総合評価 | 上記1)～4)の評価項目を踏まえての総合的な評価 |

(4) 評価

5) 総合評価について、A=3、B=2、C=1、D=0と数値に換算して委員の評点の平均を算出し、各テーマの評価点とした。この評価点に基づき、以下の4段階の評価結果を決定した。

| 評価点 | 評価 |
|-----------|----------|
| 2.50～3.00 | 極めて優れている |
| 1.50～2.49 | 優れている |
| 0.50～1.49 | 概ね妥当である |
| 0.00～0.49 | 妥当とは言えない |

4. 評価委員の名簿

| 氏名 | 機関名(評価時) | 役職(評価時) |
|--------|-------------------|-------------|
| 大岸 治行 | 株式会社 三菱化学テクノロジー | 客員研究員 |
| 國友 哲之輔 | 東レ・メディカル 株式会社 | 顧問 |
| 小林 敬幸 | 国立大学法人 名古屋大学 | 准教授 |
| 小林 直人 | 学校法人 早稲田大学 | 副所長・教授 |
| 小松 正二郎 | 独立行政法人 物質・材料研究機構 | グループリーダー |
| 近藤 昭彦 | 国立大学法人 神戸大学 | 教授 |
| 長張 健二 | 独立行政法人 科学技術振興機構 | 技術参事 |
| 橋本 敬介 | 東芝メディカルシステムズ 株式会社 | 参事 |
| 馬場 嘉信 | 国立大学法人 名古屋大学 | 教授 |
| 林崎 良英 | 独立行政法人 理化学研究所 | プログラムディレクター |
| 原崎 秀信 | 日本電気 株式会社 | 主席主幹 |
| 日根 隆 | 株式会社 島津テクノロジー | 常務執行役員 |
| 細野 秀雄 | 国立大学法人 東京工業大学 | 教授 |
| 三宅 淳 | 国立大学法人 大阪大学 | 教授 |

(敬称略、順不同)

| No | 技術分野 | プロジェクト ID | 研究テーマ名 | 所属機関名(評価時) | 研究代表者 |
|----|-----------|-----------|--|-----------------|-------|
| 1 | ライフサイエンス | 09A08011a | ヒト型糖鎖を均一に有する組換え糖タンパク質を高効率に生産する代替宿主としての酵母株の開発 | 独立行政法人産業技術総合研究所 | 安部 博子 |
| 2 | 革新的融合 | 09C46501d | ナノ結晶による低熱伝導率化を利用したシート状熱電発電モジュールの開発 | 独立行政法人産業技術総合研究所 | 馬場 創 |
| 3 | 革新的融合 | 09C46511a | 中枢神経系神経細胞を増殖させるための培養技術と移植マテリアルの開発 | 国立大学法人東京医科歯科大学 | 味岡 逸樹 |
| 4 | 革新的融合 | 09C46551d | サステナブル Fe 酸化物高温強磁性半導体を用いたスピニエレクトロニクス素子の開発 | 国立大学法人大阪大学 | 田中 秀和 |
| 5 | 革新的融合 | 09C46570d | 超低電力電圧駆動型スピン偏極・配向化技術の開発 | 国立大学法人東京工業大学 | 谷山 智康 |
| 6 | 革新的融合 | 09C46574a | 自律型自己組織化液体ナノプロセス・装置の開発 | 国立大学法人信州大学 | 是津 信行 |
| 7 | 革新的融合 | 09C46622a | 先端光学材料と輸送機器の窓ガラスの樹脂化を指向した新しい高屈折率透明樹脂の開発 | 国立大学法人東京工業大学 | 小西 玄一 |
| 8 | 革新的融合 | 09C46624d | 力を感じる次世代超精密加工機の開発 | 学校法人慶應義塾 慶應義塾大学 | 柿沼 康弘 |
| 9 | 革新的融合 | 09C46660a | 新しい原理に基づく吸収増幅顕微鏡の開発と生物研究応用 | 国立大学法人大阪大学 | 永井 健治 |
| 10 | インターナショナル | 09E52502a | グローバルな食糧確保に貢献する寄生雑草制御技術の開発 | 公立大学法人大阪府立大学 | 岡澤 敦司 |